

きゅうりのつる下し作業を楽にしよう！

～アシストスーツの導入検討会を開催しました～

山武農業事務所改良普及課 令和3年6月7日発

山武地域のきゅうり栽培農家では、管理作業の一環としてつる下し作業を行っており、目線より高い位置での腕上げ作業が4時間以上も続くため、身体への負担が大きく作業効率の低下にもつながっています。そこで、5月19日、JA山武郡市きゅうり部会役員3名、JA山武郡市職員2名、農業事務所の計8名が参加し、大網白里市のきゅうり栽培農家にて、(株)イノフィスが開発したガススプリングを動力としたアシストスーツの導入検討会を開催しました。参加者が実際にアシストスーツを装着し、つる下し作業を体験しました。参加者からは「スプリングの補助効果を実感した」、「装置に慣れれば腕上げ作業が楽になりそう」という好意的な感想が聞かれました。

農業事務所では、今後もきゅうり産地の維持発展に向け、現地での課題解決に取り組んでいきます。



アシストスーツ装着の様子



アシストスーツを装着したつる下し作業